

## 研究副主題

### 基本的な生活習慣の定着を 図る道徳教育のあり方

耶麻郡北塩原村立第一中学校

#### 一、副主題設定の理由

明るく純朴な生徒が多いが、中学校三年間を、同じ学級、同じ顔ぶれで過ごすため、生活がなれ合いになりやすく、約束やきまりに対して一貫性や厳しさが無い。そのため基本的な生活習慣についての共通理解とその指導が特に大切になってくる。

#### 二、研究実践の概要

1、地域性を考慮した指導計画作成  
「全体計画」を改善し、「学級における指導計画」を作成したことにより、本校における道徳教育がより一貫したものになり、同一歩調で生徒の指導に当たることができた。

#### 2、道徳の時間の改善と充実

教師の授業への取り組みが、より計画的・組織的になり、一・二年生は葛藤資料を基にした話し合い、三年生は役割演技を取り入れるなど、生徒同士の働きかけが主体的になさ

れ、自己をみつめさせる指導方法を工夫した結果、自分の考えをはっきり言える生徒、自主的に発表する生徒、「道徳の時間が楽しくなった。」と言う生徒などが増えてきた。

#### 3、道徳的実践の指導

本校では、「道徳的実践力」を高める場」と「道徳的実践の場」を車の両輪のように設定し、両面から道徳教育を推進してきた。「本校で取り組む基本的な生活習慣」として、左図のように、「礼儀」「時間」「話し合い」「役割と責任」の四点に的を絞り、道徳の時間及び道徳的実践の場での

#### — 研究主題・副主題に対する基本的な考え方 —

自主・主体的な行動とは

- 礼儀をわきまえ、進んであいさつができる。
- 時間の大切さを理解し、計画的積極的に物事に取り組むことができる。
- 互いに相手を信頼・尊重し、集団生活の向上のために話し合いができる。
- 集団の成員としての自分の役割を、積極的に果たすことができる。
- 自分の目標に向かって、根気強く努力することができる。

道徳的実践		道徳的実践力	
各教科	特別活動	日常生活	道徳の授業
・ 生徒同士のあいさつ	・ 教師や来客へのあいさつ	・ 職員室への出入りの仕方	・ 他者への思いやり・友情
・ 授業の開始・終業のけじめ	・ 2分前行動	・ はきはきとした発表、発言	・ 他者の人間性に対する尊敬
・ 話の聞き方	・ 役員、委員会の係活動	・ 日直、週番、給食当番の遂行	・ あいさつの必要性の自覚
・ 直直、週番、給食当番の遂行			・ 時間の大切さの自覚
			・ 計画的な生活を送る態度
			・ 自主性と、相手への信頼
			・ 集団生活の向上に尽くす態度
			・ 役割と責任の自覚
			・ 集団の成員としての自覚

↑ 本校で取り組む基本的な生活習慣

礼儀正しい生活を送ろう・時間を守ろう・話し合いをしよう・役割を果たす

↑ 基本的な生活習慣の定着

[ 文部省で示された基本的な生活習慣 ]

集中した指導を実践してきた。(1) 挨拶の必要性の指導として「挨拶はなぜ大切なのか。」を、理屈ではなく、感覚的に理解させるために、グループエンカウンター(気づきのための感受性訓練)を通して自己を見つめさせ気づきを大切にした指導を行った。生徒は「挨拶しないと変な気持ちだ。」「挨拶すると気分がいい。」などという反応を示した。その結果、心をこめて挨拶する生徒や職員室への礼儀正しい出入りをする生徒が増えてきて成果があったと考えられる。

(2) 時間の大切さを自覚させるために、ノーチャームでの生活を継続して経験させた結果、始業二分行着席、特別教室への移動、全校集会での整列など、生徒が自ら考え次の行動に移ることができた。教師の指示や注意も減り、望ましい方向への変容が見られた。

(3) 話し合いについては、まず人前で話すことに慣れさせることが大切であると考え、短学活で「一分間スピーチ」を実施し、授業の中ではグループごとの話し合いをできるだけ多く取り入れるようにしてきた。

その結果、人前で話すことにより抵抗を示さなくなった生徒や、話す声が以前より大きくはつきりしてきた生徒が増えてきた。

#### 三、今後の課題

1、各種指導計画の形式や内容を実践に基づいて見直し修正を加える。  
2、道徳の授業を更に充実させるため、多様な指導方法の工夫と、指導資料の開発に努める。  
3、基本的な生活習慣に対する意識や態度が、更に良い方向に進めるよう継続指導する。